

「種山ヶ原は今②③」

「キャンプファイアーで歌っていた
あの「家路・遠き山に陽は落ちて・・・」を
賢治がすでに別な歌詞で歌っていたんだって」
「銀河鉄道の夜」と

ドヴォルザークと宮沢賢治

ドヴォルザークの新世界交響楽が

「銀河鉄道の夜」に登場する。

一面トウモロコシ畑からこの旋律が流れてきて、女の子が「新世界交響曲だわ」とつぶやき、ジョバンニが「そうそうここはコロラドの高原じゃなかったろうか」

賢治はコロラド高原を種山ヶ原に考えていたのだろうか。「種山ヶ原の夜」も麓の米里の農家の人達の生活そのものに見える。いくらか覚えているような…。

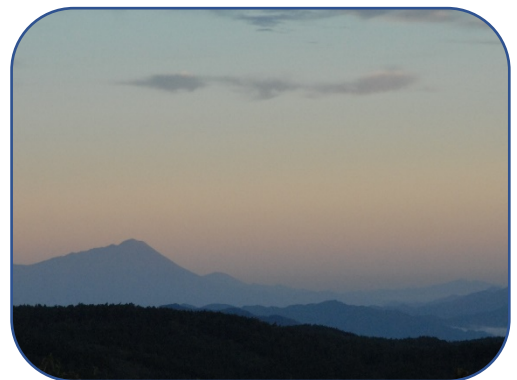
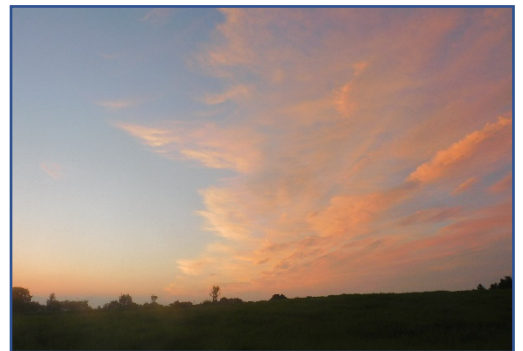
キャンプファイアーの時に歌われる歌、「家路」は1922年にドヴォルザークの友人W.A.フィッシャーが彼の曲「交響曲第九番「新世界より」の第二楽章に歌詞をつけて歌曲「Goin' Home」を発表している。

日本では堀内敬三氏が戦後1946年に「Goin' Home」を翻訳して、「家路」を発表し今尚歌われています。

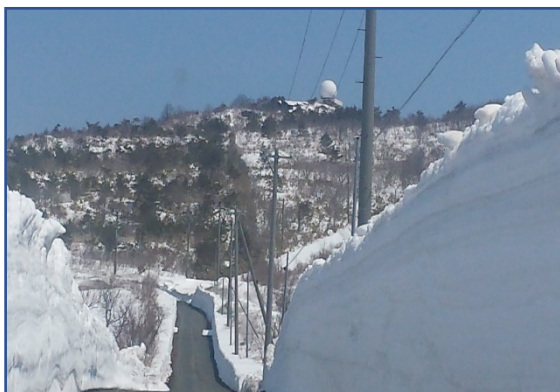
しかし、賢治の友人齊藤宗次郎氏の自叙伝によると、「堀内氏が翻訳し、発表した「家路」よりも20年以上も前の1924年に「種山ヶ原」として賢治先生はすでに下記のように詩を作り、皆に歌って聞かせています。蓄音機でドヴォルザークの交響曲第九番「新世界より」等を聴いているハイカラな宮沢賢治の為せる業なのでしょう。」と。

『家路』

遠き山に陽は落ちて
星は空をちりばめぬ
きょうの業をなしおえて
こころ軽くやすらえば
風は涼しこの夕べ
いざや楽しまどいせん



4月の種山ヶ原



「種山ヶ原」

作詞 宮沢賢治 作曲 ドボルザーク

春はまだきの朱雲を

めぐる へきれき
繞る八谷に霹靂の

アルペン農の汗に流し

いしぶみしげきおのづから

まだ か
縄と菩提樹皮にうちよそひ

種山ヶ原に燃ゆる火の

風とひかりにちかひせり

なかばは雲に鎖さるゝ

四月は風のかぐはしく

四月は風のかぐはしく

雲かげ原を超えくれば

雪かげ原を超えくれば

雪融けの草をわたる

雪融けの草をわたる

※まだき＝早朝

アルペン農＝高地農業？ 種山ヶ原で取り組んだ若者たちがいる。

しかし、谷風が強すぎた。

縄と菩提樹皮にうちよそひ＝縄、木の皮、ツルの皮等で作った蓑を着て

霹靂＝雷。 いしぶみ＝石碑のことで、ここでは雷神様(農業の神様)。

種山ヶ原には雷神の他に、畜霊塔や馬頭観音等がある。

麓の米里には田の神とか虫供養塔等 430 もある。

今は機械化になり、草刈りからロール作りまで機械で処理します。

これも又、見事です。しかし、ここでも害獣日本ジカが30%食べてしまいます。高い肉にするにはトウモロコシ等の資料を食べさせなければならぬので、畜産家にとってはダブルパンチです。

種山ヶ原の夜明け前は、暗い草原に鹿の目がいっぱい。雄鹿は車と距離をとりながら、けん制してきます。最近イノシシが増えています。注意！

春は野ウサギや鹿の子どもに会えますが、クマやイノシシには気をつけて下さい。



山村・米里・人首に来てみて！

※米里地区センターにマップがあるので、立ち寄って。

- ☆ 1 米がうまい「米の里」米里へ！
- ☆ 2 宮沢賢治作品の原風景が残る里・米里へ！
宮沢賢治が3度は訪れ、作品がいくつか。詩碑が2つある。
- ☆ 3 宮沢賢治・イーハトーヴ風景地「種山ヶ原」と
「五輪峠」に通ずる「旧五輪街道」のある米里
- ☆ 4 民話の里・米里へ
佐々木喜善作「江刺郡昔話」「ひょっとこの始まり」や
金田一京助編「ひょっとこの由来」等もある
- ☆ 5 石碑が430基も現存し、仏教・神道・キリスト教(カソリック・ハリストス)等があるミステリアスな里・米里へ
- ☆ 6 昔は鉱山があり、街道があり、宿場があり、今尚その
昔の香りが残る米里
- ☆ 7 地震をあまり感じない山村・米里
だから ILC 候補地なんです。
- ☆ 8 「人首(ひとかべ)」おどろおどろしい地名ですが、
坂上田村麻呂が東夷東征の際、最後まで戦った若い武将
人首丸が由来しています。

【ILC とは】

＜宮沢賢治も大正6年江刺郡の依頼で地質調査をしています。＞

1、ILC とは、「国際リニアコライダー」

(1)なぜ？

ビッグバン（宇宙誕生直後の状態）を再現させる

(2)ビッグバンができると？

宇宙創成の謎、時間と空間の謎、質量の謎

これらの謎の解明などにつながります。

2、どこにできる計画なの？

北上山地に 全長 50 km

今回は、種山ヶ原の麓から南へ 30 km

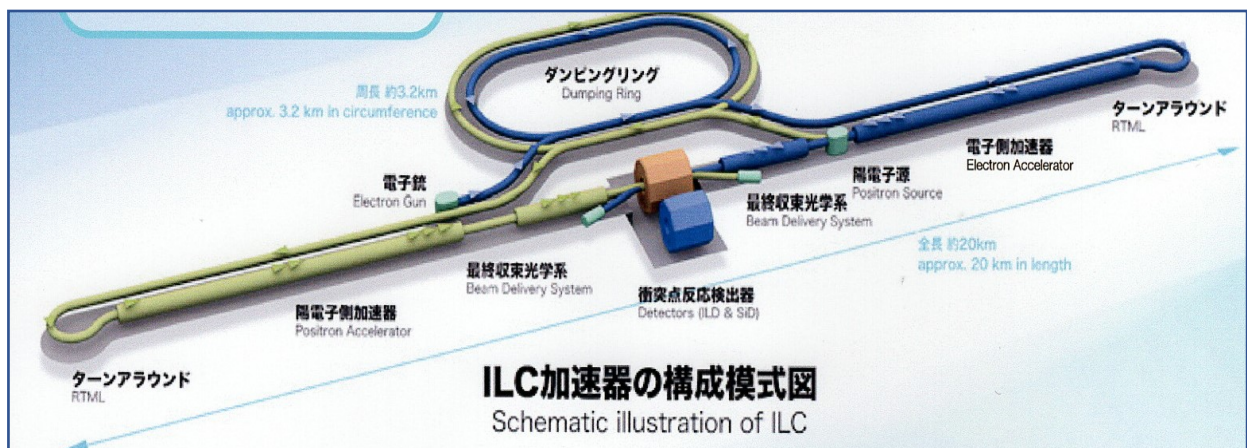
3、どうして北上山地？

電子と陽電子の精密衝突のため、人工振動が少なく、活断層がない硬い安定岩盤にトンネルを建設。その候補地として、北上山地が選ばれた。北上山地・種山ヶ原の地

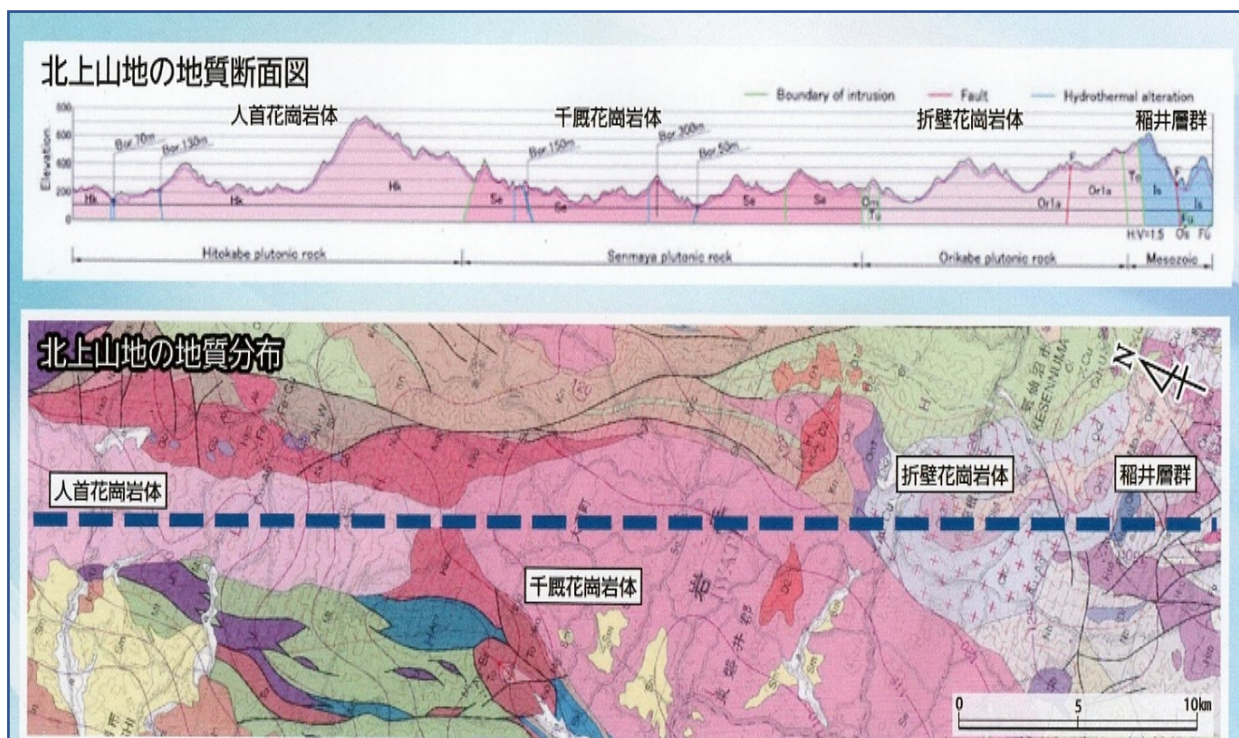
下は花崗岩帯で、「人首岩体」がある
 ※米里は地震に強い。同じ奥州市でも、震度が2の時、種山ヶ原では揺れを感じないくらい安定している。

4、 ILC 誘致が実現すると

国際的になり、地域に「知の拠点」が形成され、子どもたちにとっては価値ある環境ができる。しかし、変革も大きく、失ってならない地域の歴史等の価値を認識し、守る意識を共有しておかなければならない。
 そのためにも学習し、その価値を認識する必要がある。



県資料から



県資料より

「白鳥たち、まもなく北帰行」

旅立ちに向けて「落穂ひろい」 ミレーの絵に負けないです。
泥んこ遊びも大好きです。あと1ヶ月で旅立ちです



東北新幹線の下にも



人首川に遊ぶ白鳥

